

施設なすで物理的防除と天敵製剤を組み合わせ アザミウマ類を退治しよう！

【1 成果概要】

- (1) 施設なすで5月下旬に天敵製剤であるスワルスキーカブリダニ剤（商品名：スワルスキー、以下「スワルスキー」）を放飼すれば、アザミウマ類による被害を抑制することができます。
- (2) また、スワルスキーに加えて光反射シート（商品名：デュポン™ タイベック®400WP）や光反射資材織り込み防虫ネット（商品名：タキイホワイト TW30）等の物理的防除を併用すると、害虫の施設内への侵入が抑制され、防除効果はより高まります（図3）。
- (3) ハダニ類を対象とする天敵製剤のミヤコカブリダニ製剤（商品名：スパイカル EX）とスワルスキーを同時に放飼した場合、ミヤコカブリダニの株上での増殖はほとんど確認されません。



図1 スワルスキー放飼直後の状況



図2 物理的防除資材の展帳・敷設状況

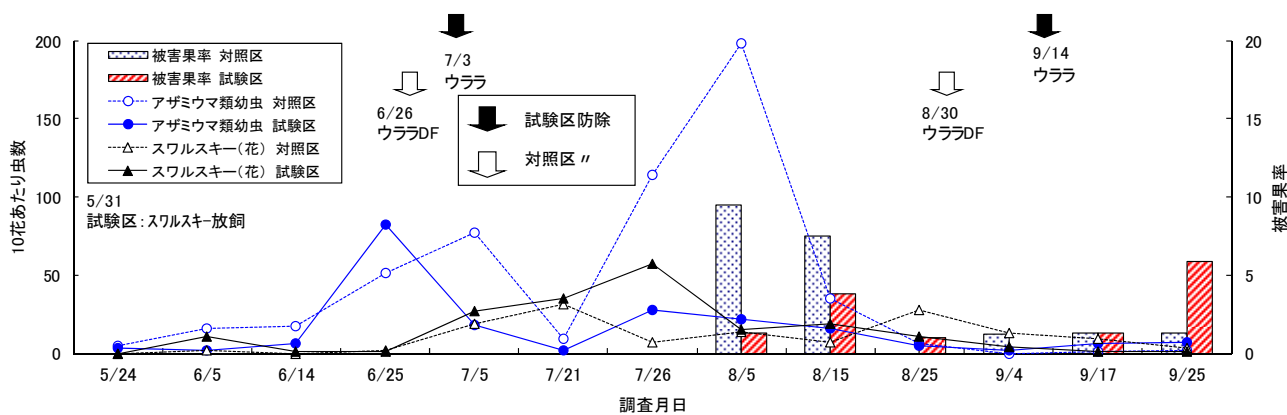


図3 スワルスキーと物理的防除を組み合わせたアザミウマ類の防除効果 (H25 北上市農研Cほ場)

試験区：ハウスサイド 光反射資材織り込み防虫ネット展張+ハウス脇 幅1.5m光反射シート敷設
 対照区：ハウスサイドに4mm目防虫ネットのみ展張

【2 留意事項】

- (1) 天敵放飼後は、なす整枝時に葉等に寄生した天敵を施設外に持ち出さないよう、整枝した枝葉は株元に置き、天敵が株に戻れるようにします。特に、放飼直後のまだ天敵の密度が低い時はこの作業を徹底します。